

1.施設概要

名称	新井戸尻考古館
建設地	長野県諏訪郡富士見町境7042-2ほか
敷地面積	6,484.5㎡
延床面積	1,154.17㎡
建築面積	1,030.08㎡
規模構造	地上2階
建物高さ	地上9.3m
用途	博物館

2.敷地案内図

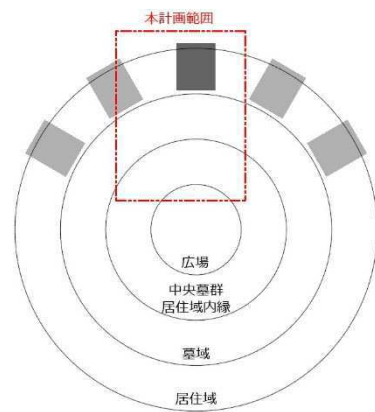


3.設計主旨

富士見町新井戸尻考古館基本計画の基本理念「過去を学び、現在を知り、未来を考え、この地に生きる」を基に、**井戸尻文化の世界観とつながる考古館**を計画します。

1. 環状集落をモチーフとした配置計画

- ① 円環状に配置した考古館と前庭
 - ・縄文集落は広場を中心に墓域、居住域が円環状に配置されていた。そこで、今計画では、**任意の点を中心に考古館や前庭を同心円状に配置し、井戸尻文化とのつながりを感じる計画**とする。
- ② 土地のレベル差を生かした造成計画
 - ・計画地は南北に約4mの段差がある敷地形状である。縄文時代にも階段状に築かれた住居群があり、これらをモチーフに**体験の庭や展示の庭、実験畑を段状に配置して、地形に沿った外構を整備**する。



円環集落のダイヤグラム



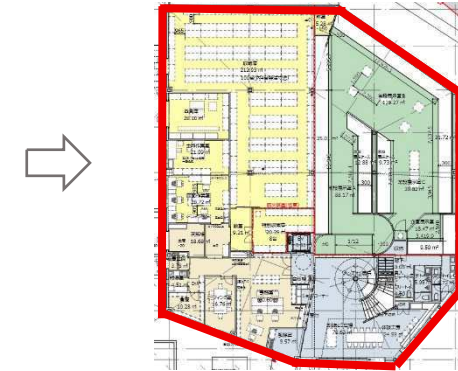
階段状に築かれた机原の住居址

2. 竪穴住居との形態上のつながり

- ① 平面形
 - ・藤内・井戸尻期の住居は柱が7本。
 - ・柱は水・金・火・木・土・月・太陽の七曜に一致し、天空をゆく太陽と月が30日おきに宿る七舎の数。(富士見町史 上巻)
 - ・**平面は変形した7角形とし、中期の竪穴住居と形態的につながる計画とする。**



藤内遺跡 32号住居址 (井戸尻第9集)

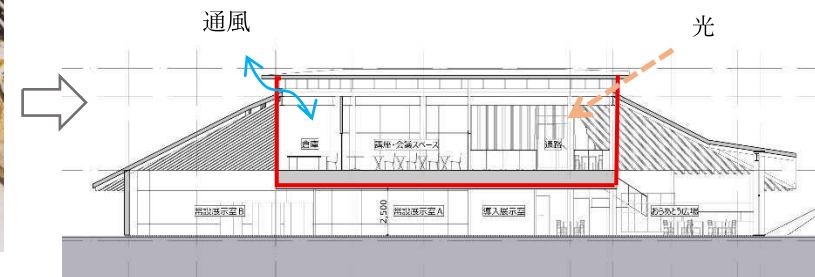


平面図

- ② 立体形
 - ・竪穴住居は軸組(柱と梁)に垂木が掛かり、茅葺屋根の大屋根に覆われた一つの空間で構成されている。
 - ・住居の梁に割り板が渡され、生活器財や食糧などが納められた屋根裏部屋。
 - ・屋根の頂きに煙出し用の開口部あり。
 - ・**鉄骨の軸組に垂木を掛け、多角錐型の大屋根に覆われた大きな吹抜空間をつくる。**
 - ・**2階のホールや講座室を大屋根の中間階に設置。**
 - ・**屋根頂部にトップサイドライトを設け、自然採光・換気を計画。**



藤内期の復元住居 (井戸尻第9集)



③ マテリアル

断面図

- ・内外が連続する土間をイメージした土系仕上げの床。
- ・自然素材の風合いを感じる土壁風の内外装壁。
- ・垂木をイメージした木質系の天井。

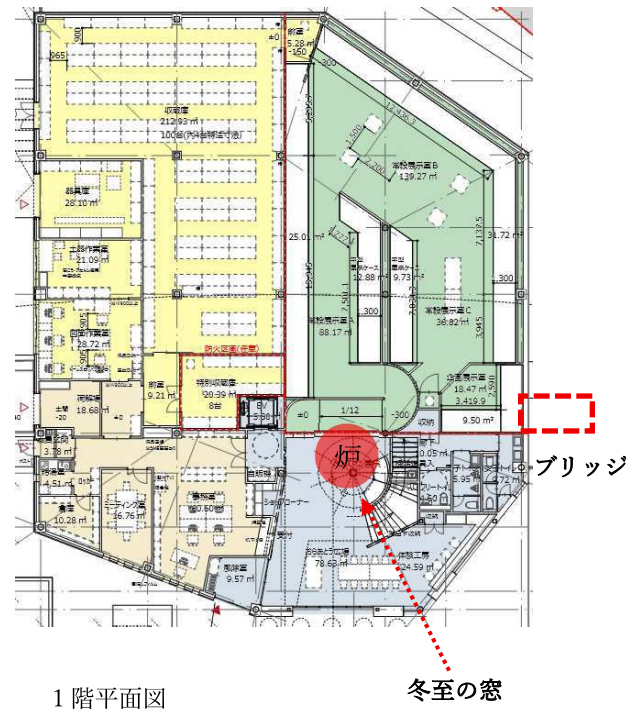
3. 井戸尻文化との精神的なつながり

① 冬至の窓

- ・縄文時代は冬至の日が一年の始まり。
- ・計画地の冬至の日の出は磁北+130度から昇る。
- ・藤内 32 号址や徳久利 24 号も、冬至の太陽光が住居のふところに深く射し入り新霊（あらたま）がこもり、新年が始まる。（富士見町史 上巻）
- ・冬至の日の出の方向に開口部を設け、朝日を館の奥深くまで導く。



計画地の日の出
令和 7 年 12 月 22 日撮影



1階平面図

② 柱と炉

- ・冬至の朝入口から住居の奥深く射し入り、石棒に当たってその影を炉内に落とす。太陽の精を受けた陽根は女陰である炉に入って火が誕生する。（富士見町史 上巻）
- ・冬至の窓の軸線上に屋根まで延びる通し柱を配置。
- ・炉をイメージして展示室前の壁を赤色に着色。

③ 掘り込まれた展示室

- ・展示室は竪穴住居をイメージして床を 30 cm 下げ、スロープで下りアプローチして縄文の世界に没入する体験ができる計画とする。

④ ブリッジ

- ・史跡（過去）と考古館（現代、未来）をつなぎ、経験や知識が循環するシンボルとしてのブリッジ。

4. 井戸尻考古館の特徴を生かした計画

① サイン・家具

- ・縄文図像をモチーフとしたサイン・家具のデザイン。



土器の文様（井戸尻第9集）

② 前庭

- ・縄文農耕論を実証する実験畑。

③ おらあとう広場

- ・地元の人々や関係者が集い、交流や学習が行える井戸尻の象徴的空間。

④ 体験工房・体験の庭

- ・館職員の実験的な研究を基に、道具を通して本物の体験ができる内外の場。

⑤ 講座室

- ・文化財を活用し、教育と地域活性化を行う学習・発信の場。
- ・投影機で月や星座を天井に映すプラネタリウム。

⑥ 大開口部・テラス

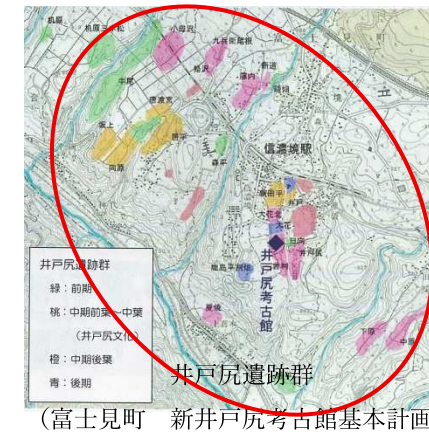
- ・周辺や遠くの山並みを室内に取り込み一体化する大開口と視点場。

⑦ 展示室

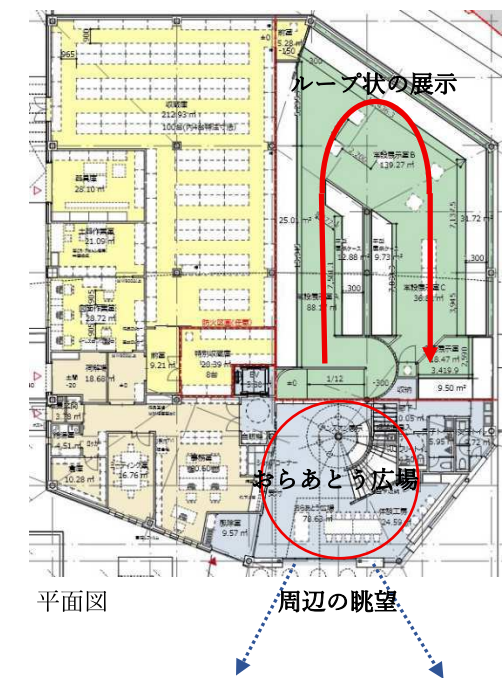
- ・おらあとう広場から展示室が大屋根で連続するダイナミックな空間。
- ・導入展示を起点にループ状につなげ、ストーリー性のある空間を構成。

⑧ フィールド・ミュージアム

- ・住民、自主的活動団体の参画による、社会的・経済的活動と地域活性化。
- ・前庭や史跡公園での体験学習、イベントの開催。
- ・井戸尻遺跡群のツアーガイド。
- ・タブレットを使ったITガイド。
(VR体験、詳細解説)

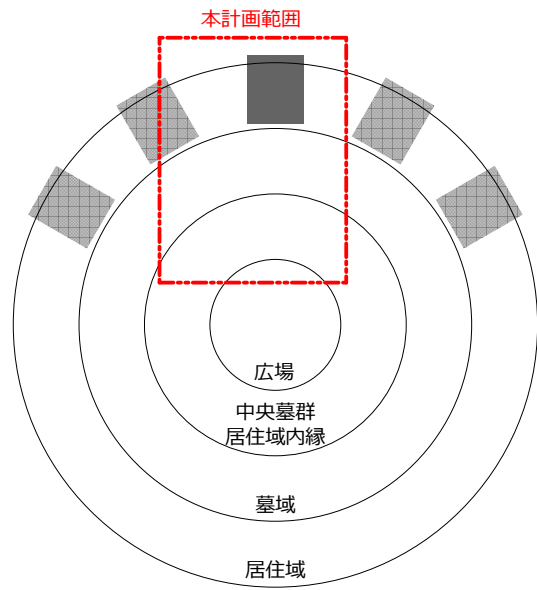


(富士見町 新井戸尻考古館基本計画)

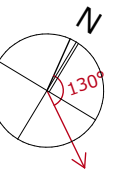


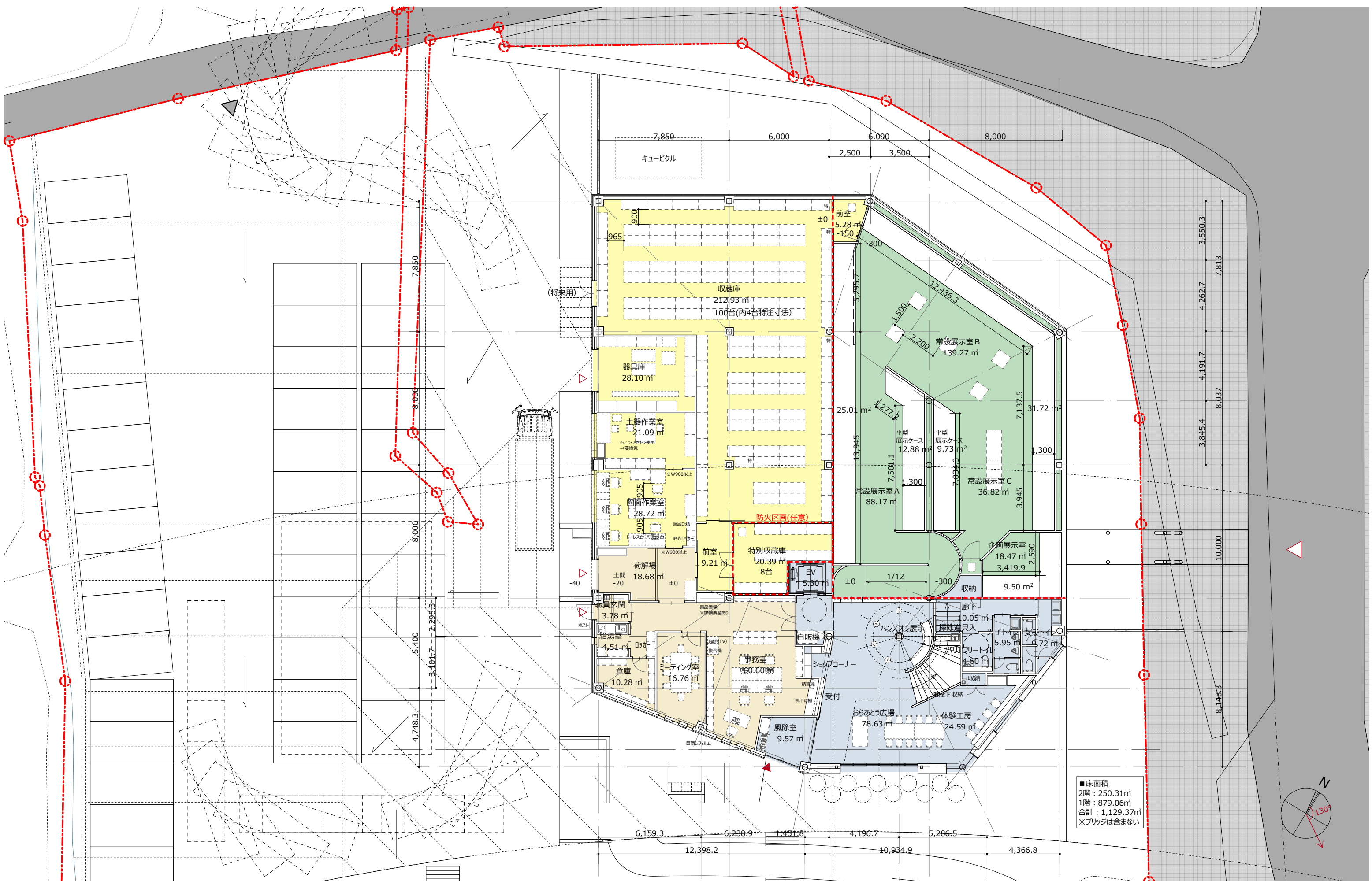
平面図

■配置計画のダイアグラム

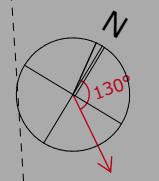


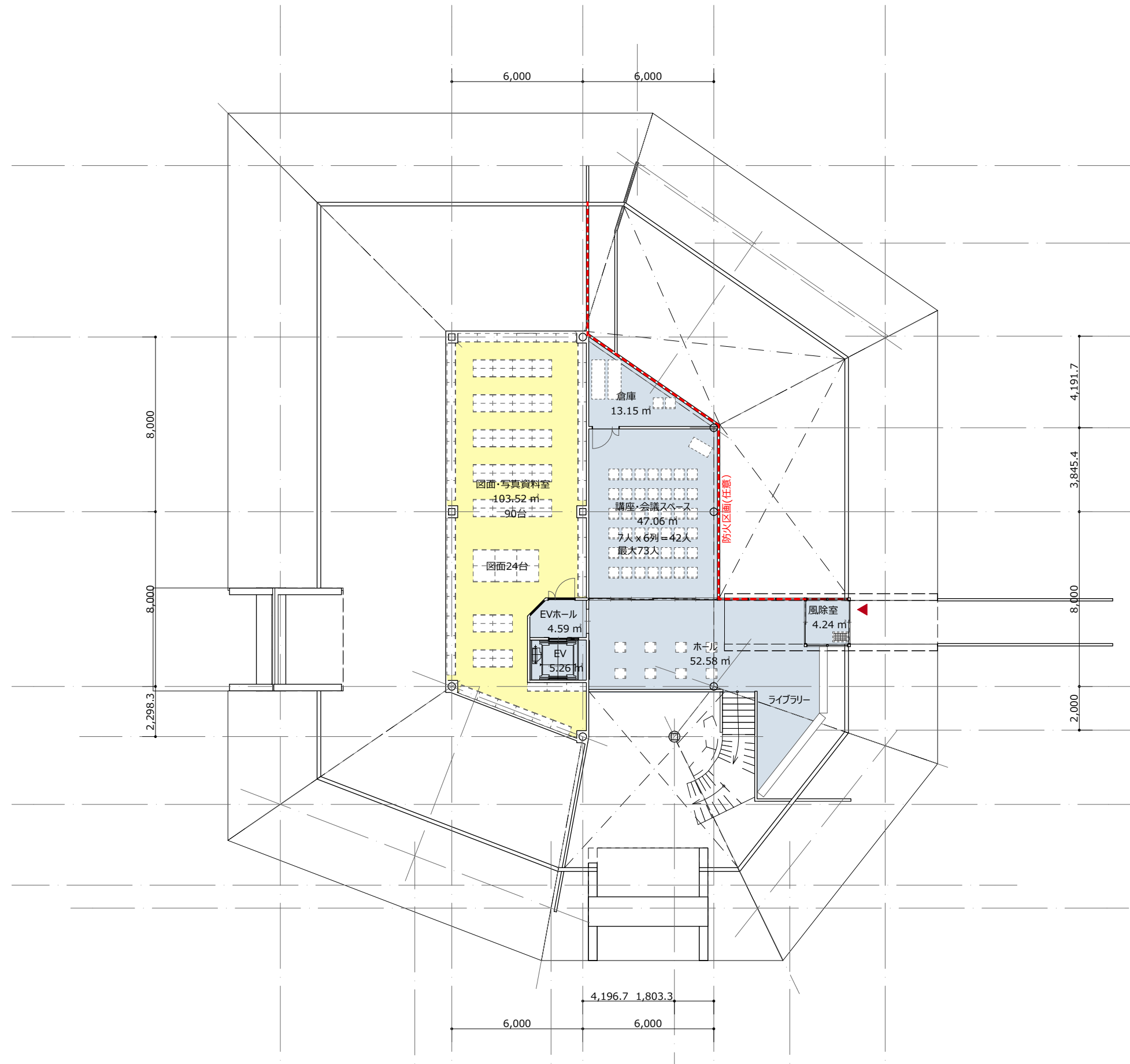
■階段状に築かれた机原の住居群





■床面積
 2階：250.31㎡
 1階：879.06㎡
 合計：1,129.37㎡
 ※ブリッジは含まない







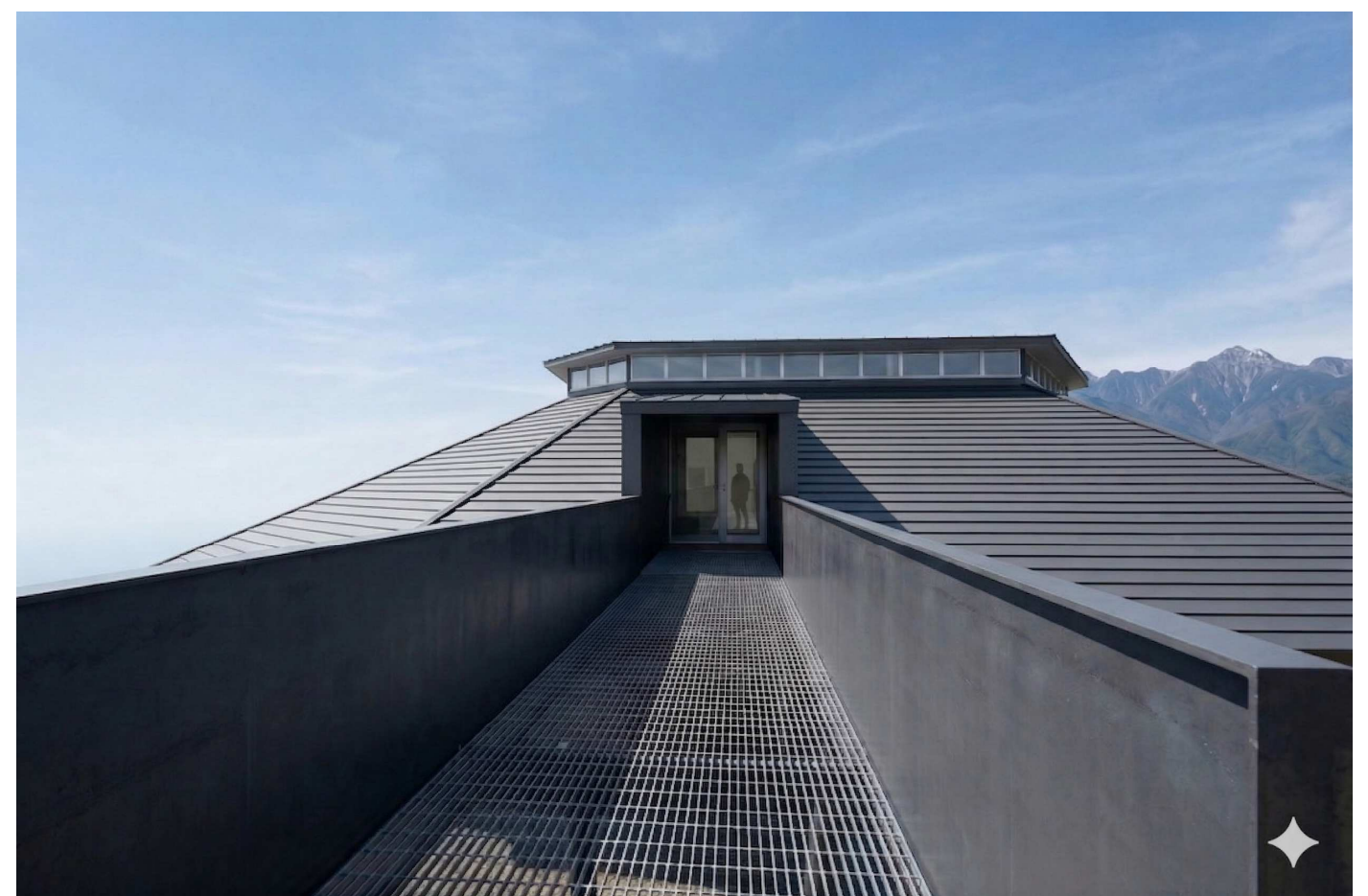
南側外観 体験の庭から見る



東側外観 駐車場から見る



北東側外観 町道から見る



東側外観 ブリッジから見る





